

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成30年(2018)10月10日

No. 130

発行 高津啓洋

高尾小仏植樹祭2018に参加



開会式



親子で参加

「高尾小仏植樹祭2018」に参加してきました。

異常気象と不順な気候の続く日々ですが。皆様お元氣でお励みの事と存じます。

さて、去る9月24日(月)表題の植樹祭が行われ、総参加者数は約300名でした。私達「地球の緑を守る会」からは湘南支部・八王子支部・船橋支部・千葉支部から、計16名が参加し約300本の苗木を植



植樹の説明がありました

え付ける事が出来ました。遅くなりましたが感謝し報告させていただきます。

この度植樹した場所は、中央高速道路建設の折、トンネルを掘った時の土砂を捨てた人造の山が、大雨などで土石流となる事を防ぐ為の重要な防災植樹でした。シラカシ、ヤマザクラ、ヤブツバキ、タブノキ、など32種類の苗木4000本を宮脇昭先生の提唱した方式(混植・密植)で植樹。人間が国土開発と言う美名の元に造ってしまった負の遺産だったように思い考えさせられた植樹祭でした

奥平湘南支部長は、主催者側のスタッフとして見事に立ち振舞って居ました。今後私達も行う植樹活動の為に多くに学ぶところの多いイベントでした。

東京都環境局、八王子市、公)イオン環境財団、公)国土緑化推進機構他の協力の下行われました。

地球の緑を守る会からは、伊藤

家庭 津倉家庭、溝垣家庭が親子で参加しました。また福島から2人の青年(女性)も参加してくれました。(報告者 千葉支部長 大滝順治)

Paraguay Festival in Tokyo



毎年恒例となった、パラグアイ・フェスティバルが今年も10月7日東京都練馬区光が丘公園のけやき広場で、青空のもと開催されました。

パラグアイ在住の伊達勝見事務局長も参加したいと前から話していましたが、スケジュールの都合で今回は参加できませんでした。2カ月ほど日本で活動していた伊達事務局長は11月3日にパラグアイに帰国予定です。